

気持ちよく過ごせる学校

学校教育目標

人に優しさ、自分に強さを身につけ  
自ら学び、考え、世界とつながろうとする子どもの育成

めざす学校像

- 喜びを実感できる学校
- 子どもが中心に座る学校
- 地域・保護者と共に歩む学校

めざす子ども像

- 学ぶことの楽しさを知る子ども
- 思いやりの心をもつ子ども
- 異文化に親しもうとする子ども

めざす教師像

- 子どものよさを引き出す教師
- 子どもの思いに寄り添う教師
- 付託に応える教師

具体目標

【校訓】 (ちえ) 明るく (こころ) 優しく (からだ) たくましく

- よく学び、よりよく考えさらに学びを深めようとする子どもの育成
- 相手の立場に立って考え、相互の違いを認め合おうとする子どもの育成
- 自分の考えを持ち、それを伝え、異なる考えを理解しようとする子どもの育成

MJS 愛ことば

ここにこ元気、ミラノ日本人学校

教育行動指標

わたしのあなたの「よいとこさがし、がんばるさがし」

教育方針

一人ひとりの子どものよさをみつけ、認め、励まし、伸ばす、個の確立を図る教育  
(個の確立) 人としての賢さ、優しさ、強さをもち、国際社会の中で自己を自覚し、役割を果たす。

教育の協働

家庭・学校・地域の教育力発揮

職員組織

教育の専門家集団組織

【一人ひとりの持てる職務能力発揮】

- 経営参画 (「プラス・1思考」)
- 連携(報告・連絡・相談) (「声かけ、繋がり、響き合う」)
- 職務遂行(P・D・C・A) (計画・実行・点検・更新のスパイラル)

教育環境

肥沃な教育土壌の醸成

【家庭・学校・地域の「大人のよい手本」】

- 人的要素 (子どもへ「勇気の湧く」言葉かけ)
- 物的要素 (子どもの「居場所」づくり)
- 経営要素 (子どもの変容を図る「プロデュース」)

教育活動

縦系に横系を絡ませて織り上げる「機織り」教育 【家庭・学校・地域の協働作業】

縦系:「明るく・やさしく・たくましく」 横系:「全ての教育活動」

確かな学力

自ら課題を見つけ、解決しようとする力の育成

- 学力充実の基盤づくり [生活リズム・体力づくり、単位時間の充実]
- 基礎学力の確かな定着 [繰り返し学習、発展学習、指導法の工夫]
- 豊かな自己表現力養成 [「言語活動の充実」を目指した具体的実践]

喜びのある授業

子どもの知的好奇心を揺さぶる「湧く」、「沸く」、「ワク」する授業

①「基礎・基本」をきちんと「教え」、「考え・活動させる」授業

- 子 ○学習の「めあて」、「方法」、「内容」が分かる。
- ど ○「友の考え方のよさ」が分かる。
- も ○学習を終えて「自分の成長」が分かる。

②「対話活動」が組織された学習活動

③ 教師の支援が生きている学習活動

豊かな人間性

心の豊かさを求める態度の育成

〔イタリア・ミラノの教育環境を最大限活用〕

- 基本的な生活態度の確立(「5つのしおり」) [よき自己意識]
- 道徳の時間確保及び計画に基づく実践的指導 [道徳的価値の自覚]
- 心を耕す体験的学習活動の充実 [感性、知性、徳性の涵養]

指導と評価の一体化

〔「子どもの姿は、教育指導の実態」〕

教育評価

家庭・地域とのコミュニケーション・ツール

【相互理解・相互信頼・相互尊敬】

- MJS教育の質の向上 [家庭・地域から信頼を得る教育の創造]
- 内に外に開かれた学校づくり [教育の協働化を図る双方向情報発信]

子どもを中心に置き、目標に照らした計画・実践・検討を図り、軌道修正を繰り返す教育実践